

広島みらいづくり2011

立候補予定者公開討論会マニフェスト

【～みんなで共に考える広島のみらいづくり～】

氏名

松井一寛



I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識) 広島に帰ってきて1ヶ月、主婦の方やお年寄り、商店主の方等、いろいろな人に会いましたが、よく耳にしたことが次のような言葉です。

①街が暮らしに賑わいや活気がない ②市議会と常に対立している

③近隣市町との連携が十分でない ④市職員に『笑顔』がない

(目指す姿) このような現状を変えるために、広島生まれ(被爆2世)、広島育ちの私が、故郷を離れ、40年にわたる国内、国外での仕事を通して培った「経済と雇用」の知識と能力を全開して、多角的な「経済・雇用施策」を繰り出し、賑わいと活力あふれる「わくわくライフ広島」を実現することが出来たらと考えております。

II 短期で行う重要施策(1年以内) ※優先順に3つ

①行財政改革

・市長の退職金の削減や市職員の定数、給与への切り込みと市議会議員の定数・報酬への切り込み

②広島県・近隣市町との連携強化

・「まち起こし協議会(仮称)」を設置
・県との間での定期的な県市トップ会談等

③「対話・ビジョン・実行」を起動させる先駆的施策の発進

・若者・経済界・商店街等を構成員とする検討委員会を設置
・「わくわく市政座談会」の設置等

III 中期で行う重要施策(4年以内) ※優先順に3つ

①経済・雇用

・中小企業・地場産業の支援等 広島駅周辺の広域都市機能導入等 ・「もてなし」の観光ビジネスを促進し、観光客を1000万人から20%増、外国人観光客は30万人から60万人に増

②基盤整備

・高速3号線の整備 ・高速5号線の整備促進 ・高速4号線の延伸 等
・路面電車とバスのネットワークづくり
・郊外住宅団地の公共交通の確保

③教育・福祉・医療・文化・芸術の充実：・待機児童ゼロ ・小中学生の基礎学力、体力の向上

・女性の仕事と子育ての両立支援 ・高齢者支援体制の充実
・障害者のノーマライゼーションの促進 ・スポーツ振興 ・広島の文化・芸術活動の活発化の支援

IV 長期で行う重要施策 ※優先順に3つ

①若者・女性・高齢者、企業、団体等の、市政を“変革”する様々な取り組みの支援

②公共交通サービスを「会社本位の路線サービス」から「サービス本位の路線サービス」へと転換を図るための方策の検討

③核兵器の廃絶、恒久平和を実現するための国際平和交流の実績・基盤を活用し、「環境保全交流」「ビジネス交流」を本格化

プロフィール

氏名 松井かずみ

昭和 28 年 銅虫職人の長男として生まれる
被爆 2 世
広島市東区牛田出身
牛田小・牛田中・基町高校・京都大学法学部卒業
昭和 51 年 労働省入省
平成 元年 在英国日本大使館一等書記官
平成 5 年 婦人局婦人労働課長
平成 6 年 職業安定局高齢・障害者対策部 高齢者雇用対策課長
平成 14 年 大臣官房総務課長
平成 18 年 大臣官房 統括審議官(国際担当)
ILO 理事(政府代表)
平成 20 年 中央労働委員会事務局長

◎ 家 族 妻、三女一男

◎ 座右の銘 「温故知新」

◎ 趣 味 コーラス(バス担当)、油絵